

平成27年度「倉吉市特別支援リーダー育成研修会」概要

倉吉市教育委員会事務局学校教育課

- 1 目的 発達障がい等配慮を要する児童生徒に対する応用行動分析の知識と技術を学び、問題行動に対して適切な対応ができ、特別支援教育に関する事例検討で指導や助言のできるリーダーを養成することを目的とする。
- 2 実施日 8月11日（火）9：00～16：45（第1回）
- 3 主催 倉吉市福祉保健部子ども家庭課 倉吉市教育委員会学校教育課
- 4 対象者 保育士、小中学校教諭
- 5 講師 井上 雅彦氏
(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授)

6 内容

テーマ

「今日求められる『発達支援』と『保護者支援』」

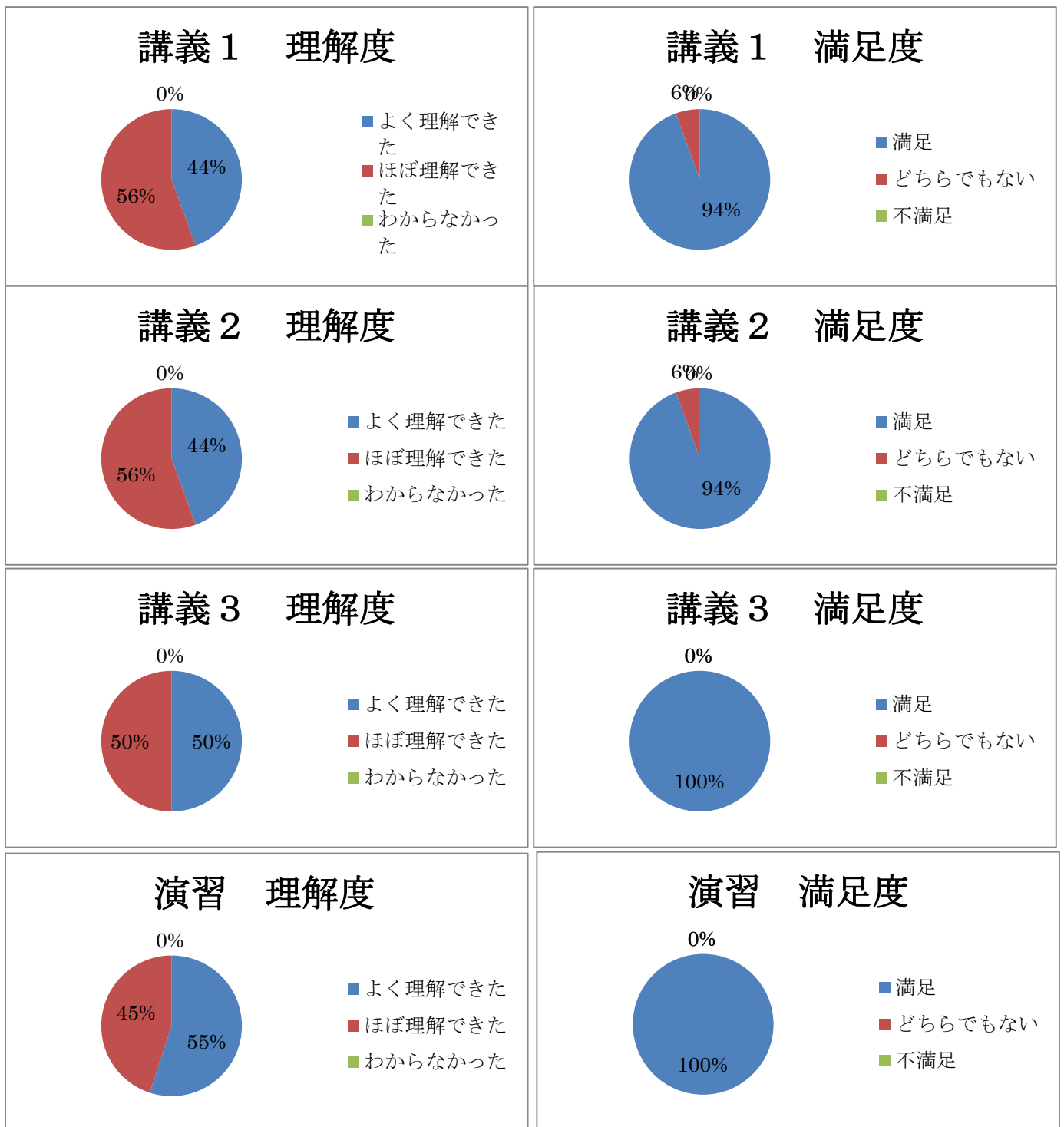
- ◆講義1 「ユニバーサル教育システムと親支援」
- ◆講義2 「ストラテジーシートの使い方①」
- ◆講義3 「ストラテジーシートの使い方②」
- ◆演習 事例検討

障がいがあってもなくても、全ての児童生徒に対して分かりやすい授業や学級経営が、問題を未然に防ぐことにつながるとして、「ユニバーサル教育システム」の重要性と効果についてご示唆いただいた。

また、困った行動には、子どもからの何らかのメッセージがあることやその行動への対応をチームで考え共通理解する上で、ストラテジーシートが有効であることを具体的な事例をもとに演習をすることができた。



7 研修後のアンケート結果と感想



参加者の感想

- 問題となる行動の事前事後、その対応の工夫や望ましい行動を図式化することで、支援の仕方がすっきりすることが分かった。
- 保護者の大変さを理解し、話のできる関係を築くことが大切だと感じた。
- 学校に適応できない生徒への対応について、教師の視点でしか見ていない、考えていないと気づいた。色々な見方があることを具体例を挙げて話され分かりやすかった。

